令和７年第３回定例会（R07.09.01）

◯８番（櫻井　茂君）　８番・櫻井　茂です。通告しました２つの質問について、一問一答方式で質問させていただきます。

　最初に、イベント広場周辺道路の整備についてであります。市民ホールの建設予定地は、イベント広場にすると位置づけがされました。かつて執行部は、候補地に適さない事案として、イベント広場周辺道路の渋滞を問題点として挙げ、イベント広場を候補地選定から外しております。今回、市民ホール建設予定地をイベント広場と位置づけするに際し、周辺道路の交通環境をどのように整備し、渋滞等の問題点を改善していくのか、考えをお尋ねしてまいりたいと思います。１点目です。周辺道路が渋滞するとした理由、根拠をお尋ねいたします。

◯議長（村上泰道君）　市長直轄組織理事・瀬尾君。

◯市長直轄組織理事兼駅周辺にぎわい創生担当（瀬尾正幸君）　ご答弁申し上げます。いしおかイベント広場の周辺道路につきましては、施設へのアクセスに関しまして、敷地南側を東西に走る幅員８メートルの市道Ａ０２０４号線がメインとなり、その他の道路については住宅地内を走る生活道路のみであることから、施設利用者の来館時、帰宅時のそれぞれにおいて、一時的に多くの車両が走行した場合に渋滞発生が予想され、混雑解消に相応の時間がかかるものと想定されます。また、施設の進入路が想定される箇所に現状右折レーンがないことも、混雑が予想される理由の一つとして挙げられるところでございます。

　以上でございます。

◯議長（村上泰道君）　８番・櫻井　茂君。

◯８番（櫻井　茂君）　ただいま、右折レーンがないことも混雑の要因という答弁がありましたので、お尋ねをしたいと思いますけれども、今後、施設整備を進める中で、市道Ａ０２０４号線のコンビニエンスストアのある交差点に、今答弁された右折ラインを設置する方向で、関係者の理解を得ていく考えがあるということで理解してよろしいのか、お尋ねをしたいと思います。

◯議長（村上泰道君）　市長直轄組織理事・瀬尾君。

◯市長直轄組織理事兼駅周辺にぎわい創生担当（瀬尾正幸君）　ご答弁申し上げます。市道Ａ０２０４号線のコンビニエンスストア前の右折レーンの設置につきましては、現状の道路幅員のみでは対応が難しいと考えられるため、用地買収などの対応も必要になるものと想定されるところでございます。したがいまして、道路所管課や警察との協議を実施いたしまして、施設周辺道路の環境改善に向け、可能な限り検討をしてまいりたいと考えているところでございます。

　以上でございます。

◯議長（村上泰道君）　８番・櫻井　茂君。

◯８番（櫻井　茂君）　私はイベント広場のすぐそばに住んでおりますので、日々、その混雑状況は見ておりますけれども、朝方は、国府町三丁目の交差点を頭に、若松町方面に渋滞が延びると。ただ、夕方はさほどでもございません。昼間は普通に流れております。

一番渋滞するのは、もうすぐあります石岡のおまつり、この３日間の夕方近くに非常に渋滞が起きます。特に中日、今年で言えば１４日です。午後３時頃から渋滞が始まりまして、昨年度などは、周辺道路はほぼ動かなかったです。もし渋滞がどの程度なのかということを見たければ、おまつり期間中の中日の３時から７時の間を見に行けば、間違いなく渋滞の状況を確認できます。すさまじいばかりの渋滞です。笑い話ですけれども、うちの家族が、この後質問しますけど、小口新道を走ろうとして、２時間自宅に帰れなかったという、自宅まで２００メートルの距離で２時間かかったということもありましたので、そのぐらい混むときは混みます。市民ホールが出来上がった際に、一斉に車でもし来られた場合には相当の渋滞、もちろん出るときもそうですけれども、そういった意味での渋滞解消策はぜひお願いしたいと思います。

２点目です。周辺道路の整備ということで、イベント広場は、先ほど答弁いただいた市道Ａ０２０４号線は、交互通行できる幹線道路として交通量も一定程度あります。国府町から若松町にかけましてイベント広場北側を東西に走る小口新道、こちらは途中までは幅員が広くて途中から狭くなると。車１台しか通れないような部分もございます。非常に不便な状況が長年にわたり続いております。

この小口新道を拡幅整備することは、イベント広場活用の際の円滑な交通体系整備に大きく寄与すると思いますので、小口新道の拡幅整備についてこれまでどのように取組をしてきたのか、また今後どのように進めるのかについてお尋ねをいたします。

◯議長（村上泰道君）　都市建設部長・浅田君。

◯都市建設部長（浅田禎智君）　ご答弁申し上げます。ご質問の小口新道、市道Ａ２３２２号線でございますが、若松三丁目の旧県道からイベント広場の裏を通り、国分寺前を抜けていく市道でございます。この路線でございますが、イベント広場に隣接している箇所につきましては、センターラインのある両側２車線で整備をされておりますが、家屋が密集している旧県道側につきましては、狭隘な道路となってございます。

議員ご指摘のとおり、複合文化施設（市民ホール）の建設により交通量の増加が見込まれ、渋滞等の発生が懸念されますので、関係部局と施設の建設計画等の情報を共有しながら、拡幅整備や待避所の整備など、どのような整備手法が取れるか、検討を開始してまいりたいと考えてございます。

以上でございます。

◯議長（村上泰道君）　８番・櫻井　茂君。

◯８番（櫻井　茂君）　イベント広場はもう長年にわたり空き地の状況であり、いつかは何か公共施設を建てて活用するんだという前提で運用されていましたから、本来であれば周辺道路の整備は、もっと早く検討、研究をしてこなければいけなかったのではないかという思いがしております。今から検討するということですので、しばらく時間はかかると。当然住宅も密集していますので、突然どいてくれと言われて、はい、そうですかというわけにはいきませんでしょうから、この辺については十分慎重にご検討いただければと思います。

次に、2)です。若松町若宮丁字路交差点から石岡つくば線への道路延伸整備について、お尋ねしたいと思います。この道路の延伸構想は、１０数年前、執行部内でも検

討されていたと聞いたことがございます。ぜひともこの道路延伸計画を復活していただいて、若松町の交差点から石岡つくば線、旧石岡有料道路の丁字路につなげるという道路の整備をしていただければと思いますけれども、ご見解をお尋ねいたします。
◯議長（村上泰道君）　都市建設部長・浅田君。
◯都市建設部長（浅田禎智君）　ご答弁申し上げます。ご質問の路線は、イベント広場の前を通り、突き当たりのＴ字路をそのまま西に道路を延ばし、若宮二丁目、総社一丁目を抜けまして、県道石岡つくば線と国道３５５号線にぶつかる府中橋北Ｔ字路に接続する道路を新設する内容かと思います。
　この路線につきましては、現時点では計画はございませんが、整備が実現しますと、イベント広場に新施設が建設されることにより懸念されます交通渋滞を解消する策の一つとなるとともに、市内外からの中心市街地へのアクセス性が向上することが期待できます。一方、議員ご指摘のとおり、市街地への道路の新設整備となりますので、土地の買収や家屋等の移転対象物件も多く、事業費や長期間の事業期間など、解決すべき課題も多いものと推察されます。
　イベント広場への新施設の建設計画を注視し、周辺の道路環境や国道、県道等の主要幹線道路への交通ネットワークを見極めながら、道路延伸の可否を含めまして精査してまいりたいと考えてございます。
　以上でございます。
◯議長（村上泰道君）　８番・櫻井　茂君。
◯８番（櫻井　茂君）　６月定例会でも道路関係の質問をさせていただいた際に、国道６号バイパス全線開通までの歳月が見えないというような状況で、答弁をいただいたかと思います。現実に先日、６号国道の幸町下の交差点が十字路になったということで、これも計画段階から見ますと２０数年かかって、ようやく水田、囲まれている周りの道路を買収、拡幅してつなげたと。非常にきれいに十字路ができまして、道路を既に多くの車が走っているかと思いますけれども、そういったことを考えると、もう１０年、２０年先は当たり前と考えていかないと、道路の整備はたとえ距離が短くても難しいのかなという思いがしております。５年先ぐらいで開通なんていうのは夢のまた夢という状況だと思いますので、そういったことも含めて、今後考えていかなきゃならないんだろうと思います。
　そういった意味で、提案させていただいた道路につきましては、６号国道の渋滞解消と中心市街地活性化に向けて、非常に重要なアクセス道路ということになると思います。イベント広場周辺道路の渋滞解消に加えまして、中心市街地のまちづくりを進める上で非常に重要な道路となることが想定されますので、こちらについては市長の見解をぜひお聞きしたいと思います。
◯議長（村上泰道君）　市長・谷島君。
◯市長（谷島洋司君）　お答えいたします。現在計画しております複合文化施設（市民ホール）の整備に当たり、イベント広場周辺道路につきましては、議員ご指摘のとおり、道路渋滞の懸念や安全性の確保が課題となってございます。イベント広場へ新しい施設ができることで、周辺の交通状況も変化することを踏まえながら、周辺の道路ネットワークの整備についても考えていかなければならないと感じております。イ

ベント広場周辺の効率的な交通ネットワークが確保できますよう、周辺道路の整備について調査を開始するよう、関係部署へ指示してまいります。
◯議長（村上泰道君）　８番・櫻井　茂君。
◯８番（櫻井　茂君）　しっかりと陳情その他、研究等を進めていただければと思います。
　３点目です。市道整備計画と建築確認申請の関係性についてということでお尋ねをしたいと思います。
　こちらは、実はイベント広場北側に児童館が設置されているのはご存じのとおりです。イベント広場から北に延びる市道は、児童館で左右に細くなって分かれています。児童館までは、約２０年ほど前に拡幅整備された道路となっておりますけれども、児童館の脇を抜けて府中クリニックのほうに抜ける道については、幅員が非常に狭くなっております。車１台が通れる幅員と。
　今回、児童館が老朽化で取壊しとなったということで、私は、この道も拡幅して真っすぐ府中クリニックに向けて抜けるものだと思っておりました。ところが、最近、長年空き地となっていた児童館北側の部分、クランク部分なんですけれども、住宅が着工されているんですね。基礎が打たれていました。これを見て非常に驚いたんですね。なぜ石岡市は、イベント広場周辺の道路環境整備を意識していなかったのかと。
　そうした点も含めて、市道整備計画と建築確認申請の関係性、本来、市道の予定地、計画地ということで、児童館を壊した段階で、これはチャンスだということで、空き地だったわけですから、その際に整備を検討しておけば、道路が拡幅かつ真っすぐに抜けると。児童館の裏側の部分については民家が建て込んでいますから、いきなり拡幅というわけにはいきませんけど、先ほど申し上げたように、１０年後、２０年後になれば、当然拡幅するチャンスが増えたわけですよね。そうしたことが今回、住宅が着工していますから、もう奪われてしまいました。イベント広場をより有効に活用しよう、周辺道路の円滑な交通環境を整備しようというもくろみの１つが、崩れてしまっているわけですね。
　そうした意味で、市道整備計画と建築確認申請の関係性をどのように考えて、市は道路整備を進めているのか、お尋ねしたいと思います。
◯議長（村上泰道君）　都市建設部長・浅田君。
◯都市建設部長（浅田禎智君）　ご答弁申し上げます。ご質問の市道整備計画と建築確認申請の関係性についてでございますが、都市計画道路の予定路線などで建物の建築に一定の制限を設けているものもございますが、そのほかの箇所につきましては、制限等を設けるのは難しい状況でございます。一般の市道を拡幅整備することにつきましては、基本的に地域からの要望書を受けて整備を行ってございます。この際、道路沿線の地権者全員に用地買収への同意書を添えて要望をいただいておりますことから、地権者の皆様には拡幅整備についてご理解をいただいているものと考えてございます。ご要望いただいてから、先ほどから言われますように事業開始まで、長時間いただいていく場合もございます。現地の状況も変わることがあると思いますので、拡幅要望がある路線沿線での建築に関する相談を受けた際には、整備の要望があることなどについて、情報提供を行ってまいりたいと考えてございます。

以上でございます。
◯議長（村上泰道君）　８番・櫻井　茂君。
◯８番（櫻井　茂君）　市の道路整備における考え方として、狭隘道路について、受け身で整備を進める立ち位置に、私は今聞こえました。地域の方々の要望を受けて、用地については協力していただけるという前提で、狭隘道路は整備していくんだと。そうすると、狭隘道路の整備というのは多分なかなか進まないんだろうと思います。
先ほどの小口新道のように途中までは拡幅されているような場合、地域で要望が出ていないケース、長年整備が止まっているケースというのは幾つかあると思います。そうしたケースは、地域で改めて要望をするのかというと、役所側に期待しているという部分でいけば、なかなか要望されないケースが多いのではないかと思います。私としては、答弁が矛盾しているのではないかと感じるところであります。
先ほど申し上げたように、１０年、２０年後、先を見据えて道路整備に向けた市道の整備計画、あるいは都市計画路線の決定、そうしたものをしっかり考えていって、狭隘道路拡幅についても同様であります。もっと積極的に動かないと、先ほど先輩議員も質問されていましたけれども、中心市街地近辺は非常に狭隘道路が多いわけで、そうしたところに市は住宅を建てて住んでもらいたいということで政策を進めているんだと、繰り返し答弁しているわけですね。でも、狭隘道路がそのまま残っていては、若い方々はなかなかそうしたところにうちは建ててくれないと思います。
実際、石岡じゃなくて、かすみがうら、あるいは小美玉、中には土浦という方もいらっしゃると思いますけれども、条件のいいところ、学校が近いとか病院が近くにあるよとか、より条件のいいところで住まいを求める方がたくさんいらっしゃると聞いておりますし、私もそうした方々を何人か知っています。そういった意味で、石岡の人口減少に歯止めをかけるという意味でも、狭隘道路についてはしっかり対策をつくっていかないと、先ほど申し上げたように１０年後、２０年後に効果が出るものもあるわけですから、なかなか思うようなまちづくりはできないと思います。
そうしたことを受けて、市長はどのように考えて道路整備を進めていくのか、特に建築確認との関係、これは市長、真剣に考えていただかないと、先ほど申し上げたように、イベント広場に市民ホールを建てるのでこれから道路整備を考えるんだ、車の流れを考えるんだというのでは、間に合わないと思いますよ。令和１２年までに市民ホールを建てると言っているんですけど、多分１２年までに、私の今回提案したものは多分無理ですよね。これ以外の何かができるのかといえば、右折ラインがぎりぎり何とか間に合うのかなぐらいのところで、これは当然、その場合、信号機をつけなきゃいけませんから、この信号機を設置する場所の電柱の移動だとか、いろんな問題が多分発生してきますので、そうしたことも含めて、市道の整備計画や都市計画決定というのは真剣に考えていかないと、多分非常に厳しい状況が待ち構えていると思います。
これについて市長のお考えがあれば、お尋ねしたいと思います。
◯議長（村上泰道君）　市長・谷島君。
◯市長（谷島洋司君）　お答えいたします。先ほど議員からご指摘がありました若松町若宮丁字路から県道石岡つくば線までの道路の延伸は、市街地の交通分散のみなら

ず、周辺住環境の改善にもつながる重要なものと捉えてございます。その上、今、議員からご指摘がありました周辺の狭隘道路でございますが、議員ご指摘のとおり、渋滞の懸念や、特に住民にとっての安全性の確保が課題になってございます。イベント広場へ新しい施設ができることで、狭隘道路を含めた周辺の交通状況も変化することが十分考えられます。周辺の道路ネットワークの整備につきましては、早急に考えていかなければならないと感じております。イベント広場周辺の効率的な交通ネットワーク、あるいは、住民の利便性を考えた周辺道路の整備につきましては、早急に調査を開始するよう関係部署へ指示をしてまいります。

◯議長（村上泰道君）　８番・櫻井　茂君。

◯８番（櫻井　茂君）　よろしくお願いをしたいと思います。早ければ早いほどいいわけでありますけれども、ただ、結果に結びつくのは……、なかなか進むというわけにはいかないだろうと。そういう気持ちで我々も見るしかありませんので、石岡市の努力を期待したいと思います。よろしくお願いします。

　次の質問に入ります。石岡中学校からの雨水流出についてでございます。

　石岡中学校南東側の集水桝近くに隣接する住宅地は、中学校敷地より低いことから、短時間で雨量が多い場合、集水桝で受け切れない雨水があふれ出しまして、住宅地に流れ込むことで表土を削り、住宅の土台を脅かす事態になっております。教育委員会はこれまで応急的な対応をしておりますけれども、被害は繰り返し発生しておりまして、市民の不安は解消されていないことから、お尋ねをしてまいりたいと思います。

　まず、１点目です。石岡中学校の雨水排水対策について伺いたいと思います。

　まずは、集水桝の現状、数や排水能力についてどのように把握しているのか、お尋ねをしたいと思います。

◯議長（村上泰道君）　教育部長・神谷君。

◯教育部長（神谷一美君）　お答えいたします。まず、隣接地にお住まいの方には、このような状況でご迷惑をおかけしていることにつきまして、おわびを申し上げます。

　石岡中学校における雨水排水の現状でございますが、敷地内には、道路や駐車場などの雨水を受けるためにＵ字溝を布設しているほか、敷地内に集水桝を約２０か所設置している状況でございます。今回、雨水が流出しております住宅地に面する部分におきましても、Ｕ字溝や集水桝を設置しているところでございます。

　現在設置されております雨水排水施設の処理能力につきましては、当初は対応できるものとして施工されたものの、昨今のゲリラ豪雨といった気象状況の変化により、対応できない状況が生じているものと考えてございます。

　以上でございます。

◯議長（村上泰道君）　８番・櫻井　茂君。

◯８番（櫻井　茂君）　当然、敷地が広い学校ですから、その中でどのように排水するかというのは、考えながらやっていらっしゃるということで、これまで来ているとは思いますけれども、石岡中学校の東側と言ったらいいんですかね、南東側、一部くぼ地があるんですね、学校の校舎の裏側のほうに。そこのくぼ地側に水が流れていっ

て、３５５、小川街道の下を排管が通っていて、その排管を通じてさらに低いほうに流すというような形で排水がされていると聞いております。当然、水は重力に従い高いところから低いところに流れますから、中学校の敷地よりも低いところに家がある、道路があるということになれば、そちら側に水が流れていくというのが現状であります。

石岡中学校と城南中学校が統合される際に、グラウンド整備や職員駐車場等の舗装化整備がされていたんじゃないかと思います。当然、これらによって水はけをよくするという目的で整備がされているわけでありますから、それまでは浸透し切って、グラウンド、あるいは土の部分で雨水が浸透。浸透し切れないものについては、Ｕ字溝等の側溝を通じて公共水路を使って排水されていたものが、先ほどありましたように、ゲリラ豪雨等の集中的に大量の雨が降る際には排水し切れなくなって、集水桝のほうに流れていくわけですけれども、排水し切れないものは水のかさが増えて、隣の境界との擁壁といいますか、水が流れないようにしていると遮蔽物を乗り越える、あるいは、その遮蔽物の間から水が流れているというような状況が発生してきたということだろうと思います。

そうした場合、本来であれば、学校整備を進める際に雨水排水計画というのをつくって、どのように学校内で集まってくる雨水を排水するのかというのを本来やらなければいけなかったんじゃないかと思います。石岡市はこれに関する条例を持っていませんけど、ほかの市を見ますと、条例を持っているところもありましたね。あるいは、グラウンド整備をする段階で、設計業者のほうで排水計画をつくっていらっしゃるところもあるようです。義務化されていませんから、それについて、いい悪いはちょっと問えるところではありませんけれども、大量の水が流れるということで、また、近隣が学校より土地が低いという部分があったので、本来であれば雨水排水計画つくってほしいところでありましたけれども、この雨水排水計画はどのような形になっているのか、お尋ねしたいと思います。

◯議長（村上泰道君）　教育部長・神谷君。

◯教育部長（神谷一美君）　お答えいたします。石岡中学校建設の際に雨水排水計画といったものは策定はしてございませんけれども、敷地内で発生する雨水の処理方法等について検討して、その結果として、敷地内へＵ字溝や集水桝が設置されているものと考えてございます。

以上でございます。

◯議長（村上泰道君）　８番・櫻井　茂君。

◯８番（櫻井　茂君）　先ほど申し上げたように、石中と城南中の統合に向けてグラウンドや駐車場の整備を行っており、そこで雨水がどのように側溝や公共水路に排水されるのかの動線の確認を行いまして、想定される集水桝ごとの排水量を把握していただきたかったという思いが強いです。その上で、雨水排水計画を作成し、必要な排水設備の整備をするべきであったのではないかという思いがしております。

近隣から排水に関する苦情が出た時点でも、策定する機会はあったように思いますけれども、そうした機会を逸したという状況で、残念ながら近年のゲリラ豪雨、線状降水帯等のニュースもよく流れますけれども、石岡も例外ではなくて、激しい雨によ

って浸水が起きている地域もあるわけであります。石中の場合は、近隣の住宅地に石中から流れ出た雨水が、少なからず影響を与えているというところも見られるわけであります。
　民間の土台をえぐってしまうような雨水の流出を防ぐ手だてとして、これまで教育委員会としても、対症療法的にその策を練って対応してきたわけでありますけれども、残念ながら、先ほど言ったようにゲリラ豪雨などもありまして、想定以上の量があったんでしょう。その関係もあって、お住まいの方は安心して生活ができない状況でもあるようです。
　そうした状況を踏まえまして、今後、石岡中学校隣地への雨水流出の抜本的な対策をどのように考えていらっしゃるのか、お尋ねしたいと思います。
◯議長（村上泰道君）　教育部長・神谷君。
◯教育部長（神谷一美君）　お答えいたします。石岡中学校から隣接地への雨水流出の対策につきましては、先日も民家の方から、最近の状況についてお話を伺いながら、現地を確認いたしまして、土のうを積むなどの応急的な措置を取らせていただいたところでございます。今後、学校敷地内に設置されておりますＵ字溝や集水桝の清掃を実施することにより、集水状況の改善を図ってまいります。
　また、抜本的な対策としまして、ゲリラ豪雨などが頻発する状況下において、周辺環境の変化など敷地内外の状況の変化や、排水施設の老朽化に伴う処理能力の低下等を踏まえ、検討を行い、適切な規模の雨水処理施設を設置していくことが考えられるところでございます。この点につきましては、財源の確保といった課題もございますことから、教育委員会のみならず、関係課と協議を行いながら取り組んでいきたいと考えてございます。
　以上でございます。
◯議長（村上泰道君）　８番・櫻井　茂君。
◯８番（櫻井　茂君）　部長から、適切な規模の雨水処理施設の設置という考えを示していただきました。具体的な施設の規模や予算は今後の調査検討に委ねざるを得ませんけれども、なるべく早い時期に、どうするのか決断していただく必要があります。そこで、教育長、そして市長のお考えをお尋ねしたいと思います。
◯議長（村上泰道君）　教育長・岩田君。
◯教育長（岩田利美君）　お答えいたします。まず、石岡中学校の敷地内の雨水が流出し、隣接地にある民家に流れ込むという状況が生じていることにつきましては、本当に大変申し訳なく思っております。
　部長からも答弁がございましたとおり、学校敷地内に設置されておりますＵ字溝や集水桝の清掃の実施など、適切な維持管理はもちろんのこと、これは生徒の安全安心な環境整備を行っていくという観点も一方でございますので、敷地全体の雨水排水処理につきましては、緊急の対策と抜本的な対策、この双方の観点から効果的な解決策を見いだし、解決に向けましては、関係部局とともに連携を図りながら取り組んでまいりたいと考えております。
　以上でございます。
◯議長（村上泰道君）　市長・谷島君。

◯市長（谷島洋司君）　ただいま、教育長、担当部長から答弁がございましたとおり、現状におきまして雨水処理が十分でないということでございました。今回私も、そのあふれ出した状況を確認させていただきました。大変ひどい状況であると驚いた次第でございます。台風の時期を迎え、またいつ起こるか分からないゲリラ豪雨への備えとしまして、近隣住民の心配を払拭できるよう、まずはできる対策を速やかに講じるとともに、抜本的に解消するよう指示をしてまいります。
◯議長（村上泰道君）　８番・櫻井　茂君。
◯８番（櫻井　茂君）　教育長、そして市長から答弁をいただきました。市長のほうでは現場を見ていただいたということで、そういった意味では、お住まいの方もひとつ心が休まるといいますか、安心されたんじゃないかと思います。また、教育委員会の職員も、連絡があってすぐに現地に赴いて状況の把握をして、何とかしますということでの応急的な措置を配慮されたという話も聞いておりますので、この点については感謝申し上げたいと思います。
　最終的には抜本的な解決策が必要でありますので、予算の関係もございますので、いろいろと検討しなきゃならない、あるいは技術的な問題もあるかとは思いますけれども、ぜひ早い解決をお願いしたいと思います。
　以上で質問を終わります。ありがとうございました。